

①10:30～11:30

聖書ヘブライ語から考える
「慈しみ」と「まこと」

上智大学教授 月本 昭男

②13:00～14:00

教皇フランシスコの思想に
おける「慈しみ」の意味

上智大学教授 ホアン・アイダル

③14:15～15:15

^{ちむぐ}
「肝苦りさ」の心

—神のいつくしみと私たちの回心—

清泉女子大学教授 竹田 文彦

④15:45～16:45

シンポジウム

(司会)上智大学教授 竹内 修一

11月19日(土)

2016年度 聖書講座



慈しみとまこと

—いのちに向かう主の小道—

〈共催〉カトリック東京大司教区 上智大学キリスト教文化研究所

場 所 上智大学 中央図書館9階 921会議室

聴講料 一般：1,000円 学生：800円

発売日 10月21日(金)

発売所

聖イグナチオ教会案内所(月曜休み) Tel.03-3230-3509

または上智大学キリスト教文化研究所

(JR 中央総武線・地下鉄丸の内線・南北線 四ツ谷駅下車)

問合せ先

上智大学キリスト教文化研究所

〒102-8554 東京都千代田区紀尾井町7-1
Tel.03-3238-3540 Fax.03-3238-4145

2016年度 聖書講座

〈共催〉カトリック東京大司教区
上智大学キリスト教文化研究所

『慈しみとまこと——いのちに向かう主の小道——』

	日 時	テーマ	講 師	内 容
1	11月19日(土) 10:30~11:30	聖書ヘブライ語から考える 「慈しみ」と「まこと」	上智大学教授 月本 昭男	旧約聖書における「慈しみ」と「まこと」は、ヘブライ語ではヘセドとエメト(ないしエムナー)と表現されます。ヘセド「慈しみ」は「憐れみ」と訳されるラハミームの類義語です。「まこと」と訳されるエメトはヘーミン「信じる」や「アーメン」と同語根語です。これらヘセドとエメトは旧約聖書では頻繁に対語として用いられます。それは神に対する真実を、また他者に対する共感あふれる態度を意味します。預言者ホセアは、それに「神を知ること」を加えて、人間を人間たらしめる基本的要件と理解しました(ホセア4:1)。それが人間に対する神のヘセドとエメトに根拠づけられることはいうまでもありません。そして、ギリシア語訳旧約聖書では、ヘセドがエレオス、エメトがアレーティアと訳され、キリスト教に大切な思想として受け継がれてゆきました(ラテン語ではミセリコルディアとヴェリタス)。この講義では、これらの思想をヘブライ語に遡って確認してみたいと思います。
2	11月19日(土) 13:00~14:00	教皇フランシスコの思想における 「慈しみ」の意味	上智大学教授 ホアン・アイダル	いうまでもなく「慈しみ」はキリスト教の思想では中心的な概念の一つです。慈しみの特別聖年は、必ずしも明確でない、この重要な言葉の意味を考える一つの招きだと思えます。W・カスパー枢機卿によりますと、「慈しみ」は教皇フランシスコの神学のキーワードです。私から見れば、教皇の思想において、この言葉は少なくとも三つの意味を持っています:「ゆるし」、「奉仕」と「他者への開き」です。今回の講演では、これらの三つの言葉に焦点を当てながら、教皇フランシスコの思想における「慈しみ」の意味を考えたいと思います。参考文献は主に教皇ご自身が書かれたものと教皇が信頼しているカスパー枢機卿が書かれて、2012年に出版された『Barmherzigkeit』(慈しみ)という本です。
3	11月19日(土) 14:15~15:15	ちむぐ 「肝苦りさ」の心 —— 神のいつくしみと私たちの回心 ——	清泉女子大学教授 竹田 文彦	「いつくしみの特別聖年」の今年、私たちは、「神のいつくしみ」について黙想するように導かれています。しかしながら、日本語の「いつくしみ」、あるいは「憐れみ」という言葉は、どこか、力ある者、上に立つ者が、苦しみや悲しみの中にある弱者、下位の者に対して上から目線で「可愛そう」と言っているような感じがしてなりません。聖書に表された「神のいつくしみ」は、決してそのようなものではありません。「他者の苦しみを、まさに自らのはらわたが引きちぎられるかのような痛みとして受け止めること」、沖縄の言葉で「肝苦りさ」の心だと思えます。聖書の記述に従ってこのことを確認するとともに、私たちが「神のいつくしみ」を理解し、他者に対する憐れみとゆるしの心を深めるために何が求められるのかを考えてみたいと思います。
4	11月19日(土) 15:45~16:45	シンポジウム		(司会) 上智大学教授 竹内 修一

場 所 上智大学 中央図書館9階 921会議室

聴講料 一般 1,000円 / 学生 800円

発売日 10月21日(金)

発売所 聖イグナチオ教会案内所(月曜休業) Tel.03-3230-3509

または上智大学キリスト教文化研究所

(JR中央総武線・地下鉄丸の内線・南北線 四ツ谷駅下車)

問合せ先 〒102-8554 東京都千代田区紀尾井町7-1

上智大学キリスト教文化研究所

Tel.03-3238-3540 Fax.03-3238-4145